

# FITTING

多様な形状やサイズが揃い、様々な用途に対応可能な継手をラインナップしています。



## プッシュワン™Aシリーズ

一般空気圧用	一般空気圧用
P.38	ミニタイプ……………P.52

## プッシュワン™Eシリーズ

一般空気圧用	一般空気圧用
P.58	黄銅ボディアタイプ……………P.74

## クイックシールシリーズ

多目的用途配管用	多目的用途配管用	一般空気圧用	一般空気圧用	一般空気圧用
インサートタイプ 黄銅仕様……………P.78	インサートタイプ ステンレス仕様……………P.90	インサートレスタイプ ……………P.96	DKチューブ 専用タイプ……………P.100	ナイロンコイルチューブ 専用タイプ……………P.104

## ケミフィット™C1シリーズ

クリーンエア・ 純水・薬液配管用
P.106

## ケミフィット™C1Sシリーズ

クリーンエア・ 純水・薬液配管用
P.114

## ケミフィット™CSEシリーズ

クリーンエア・ 純水・薬液配管用
P.120

## ケミフィット™CPシリーズ

クリーンエア・ 純水・薬液配管用
P.128

## 竹のご継手シリーズ

竹のご継手
パータイプ……………P.134

## 継手製品に関する取扱い上の注意事項

### ⚠️安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、当社製品を正しくお使いいただくための注意事項で、人体への危害や財産などへの損害を未然に防止するためのものです。これらの注意事項は、取扱いを誤った場合に発生する危害や損害の大きさの程度により、「危険」「警告」「注意」の3段階に区分しています。いずれの段階も安全に関する重要な内容ですので、ISO 4414の最新版(※1)及びJIS B 8370(※2)、ISO 4413(※3)及びJIS B 8361(※4)と合わせて必ず守ってください。

※1 ISO 4414 Pneumatic fluid power…Recommendations for the application of equipment to transmission and control systems.  
 ※2 JIS B 8370 空気圧システム通則  
 ※3 ISO 4413 Hydraulic fluid power…General rules for the application of equipment to transmission and control systems.  
 ※4 JIS B 8361 油圧システム通則

⚠️危険	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定され、かつ、危険発生時の警告の緊急性が高い限定的な場合。
⚠️警告	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合。
⚠️注意	取扱いを誤った場合に、軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合。

### ⚠️選定する前に

- ⚠️危険
  - 人体や生命の維持・管理を目的とする機器・装置には使用できません。
  - 特に安全であることが必要な機器・装置に使用される場合は、万が一抜け、破裂、漏れなどが発生した場合でも危険を防止することができる様、予防処置を必ず講じてください。
- ⚠️警告
  - カタログに明記している仕様以外での環境や条件でご使用の場合は、当社までお問合せください。
  - 人間の輸送を目的とする装置・機器・各種車両・航空などの乗り物や、人間が乗ることを目的とするレジャー機器・装置への使用、仕様を誤った際に人体へ直接影響が及ぶ医療装置や食品・飲料水に触れる機器への使用については、当社までお問合せください。

### ⚠️選定時に

- ⚠️警告
  - 使用条件が本カタログ記載の「使用条件」を満足することを確認してください。
  - 腐食性ガス・引火性ガス等を使用流体とすることや、その雰囲気下での使用は避けてください。
- ⚠️注意
  - 過度の振動及び衝撃の加わる場所では使用できません。
  - 継手の使用条件とチューブの使用条件が異なる場合、同項目の小さい値以下で選定ください。
  - 当社の継手に対しては、当社のチューブまたはJIS B 8381-1995 適合品を選定ください。ケミフィット各シリーズ継手に対しては、当社のチューブを選定ください。
  - 薬品を流体及び雰囲気で使用される場合は「耐薬品性資料」をご確認ください。めっきに関する耐薬品性については当社までお問合せください。
  - スパッタ(高温金属くず)が発生し継手に付着する可能性がある場合は、難燃性仕様の継手以外使用しないでください。火災の原因となる場合があります。
  - ケミフィットC1シリーズ・ケミフィットC1Sシリーズ・ケミフィットCPシリーズは、使用温度により最高使用圧力が異なります。選定の際は必ず「使用温度と最高使用圧力の関係グラフ」を参照ください。
  - プッシュワンシリーズ、ケミフィットC1シリーズ、ケミフィットC1Sシリーズは漏れゼロではありません。わずかに漏れの生じる場合があります。漏れを許容しない環境でご使用の場合はご注意ください。

### ⚠️取付け時に

- ⚠️警告
  - チューブが継手から万一外れた場合に、人または財産に損害を与える恐れのある箇所への取付けにはチューブを固定するなどの対策を取ってください。
- ⚠️注意
  - 継手製品の取付け方法に関する説明を別途掲載しています。それらを必ず参照し、記載されている注意事項に従って取付けてください。
  - 継手は放り投げたり、落としたりしないようにしてください。衝撃が加わった場合、外的に損傷が無くても内部部品が損傷することがあります。
  - 取付け側の材質によっては膨らみや割れなどが生じることがありますので、取付け時は必ず取付け側の強度をご確認ください。
  - ねじ部にシール加工をしている継手は有機溶剤などの使用流体によって膨潤し、ねじ部より漏れが発生する可能性がありますのでご注意ください。
  - 継手のチューブ挿入口での急な曲げ配管は避けてください。使用チューブ径の2倍の直線部分を設けてください。
  - ねじ部やチューブ取付け部が損傷した継手の使用は避けてください。また、再利用可能な製品の取付けには、必ず、その製品が損傷していないことを確認してください。
  - 当社または当社が指定する者以外が二次加工をしたり、本体を分解・改造した製品は保証いたしません。
  - チューブに張力がかかる状態での配管や、継手にねじりや曲げの負荷がかかる状態での配管は避けてください。
  - プッシュワンシリーズ、ケミフィットC1シリーズ、ケミフィットC1Sシリーズに水を流体として使用する場合は、可動部分での配管を避けてください。
  - プッシュワンシリーズ、ケミフィットC1シリーズ、ケミフィットC1Sシリーズで漏れが生じた場合は、一旦チューブを取り外し、継手内部を軽くエアブローしてください。また、チューブ先端部分の爪が食い込んだ箇所を切り落としてから再度チューブを接続してください。
  - クイックシールシリーズの各スリーブは再使用出来ません。1回取り外しごとに新品と交換してください。
  - ケミフィットCPシリーズのスリーブ及びナットは再使用できません。1回取り外しごとに新品と交換してください。
  - 異物が製品内部に混入、もしくは内部部品に接触するような環境では使用しないでください。破損や漏れの原因となります。
  - ねじ側またはチューブ挿入口側が繰返し回転または揺動するような使用はしないでください。

### ⚠️使用時に

- ⚠️警告
  - 当社製品の取扱いは、取付ける装置や機器・システムなどの十分な知識と経験を持った設計者または仕様を決定する人が判断し、必要に応じてテストや分析などを行ってください。当社製品を組み込んだ装置、機器、システムの性能、安全性はその設計者または仕様を判断した人の責任となります。
- ⚠️注意
  - 水を流体として使用する場合、凍結しないようにしてください。
  - 加圧時はチューブや継手に触れないでください。加圧中のチューブや継手に不用意に近づいたり、触れたりするとチューブや継手が突然破損した場合、流体などが飛散して危険です。
  - 流体が高温の場合はチューブや継手に触れないでください。「やけど」の恐れがあります。

### ⚠️保管時に

- ⚠️注意
  - 製品を未使用のまま保管される場合は、必ず、ごみ等が付着しない場所に保管してください。ゴミ等が製品の内部に付着すると製品本体や周辺機器に入り込み、故障の原因となる可能性があります。
  - 直射日光を避け、40℃以下で乾燥したところに保管してください。
  - 継手製品の長期間保管後のご使用は避けてください。製造後1年を目安にしてください。
  - クリーン継手ケミフィットシリーズは使用する直前に開封してください。また、埃などが少ない場所で箱に入れて保管してください。

### ⚠️保守・点検時に

- ⚠️注意
  - 当社製品の取扱いや取り外しは必ず供給している電源等を切り、供給圧力を止め、配管中の圧縮空気を排気するなど、装置や機器・システムを停止させ、安全を確認してから行ってください。
  - 定期点検を必ずしてください。その際に外傷や腐食、磨耗等、製品の劣化や無理な配管が無いことを確認し、必要に応じて新品と交換してください。
  - クイックシールシリーズ、ケミフィットC Pシリーズを長期間連続してご使用になられる場合、または、使用温度範囲内高温領域で連続してご使用になられる場合は、ナット部分を定期的を増締めしてください。また、ねじ部が樹脂の継手は、ねじ部分も定期的に増締めしてください。

### ⚠️廃棄時に

- ⚠️注意
  - 不要となった製品の処理は、産業廃棄物として処理するか、専門業者に処理を委託してください。特に、ふっ素樹脂を用いた製品を焼却すると、有害な分解ガスを生じる恐れがあります。